

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 安藤英由樹 副委員長 石井雅博・蒲池みゆき

幹事 水科晴樹・川崎真弘・清河幸子 幹事補佐 黒木 忍・菅沼 陸

日時 9月28日(月) 13:30~17:15

29日(火) 9:30~16:10

会場 京都テルサ(京都市南区東九条下殿田町70(新町通九条下ル京都府民総合交流プラザ内). JR京都駅八条口西口より南へ徒歩約15分, または近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分. <http://www.kyoto-terra.or.jp/access.html>
TEL [075] 692-3400 水科晴樹(徳島大)

議題 「眼球運動と知覚」, 「眼球運動の制御・計測」, 「調節・瞳孔の機能」, 及びヒューマン情報処理一般

28日

1. 加速度センサを活用した非装着型の人間の行動推定システム ○内田泰広・澤本 潤・杉野栄二(岩手県立大)
2. 重力方向の影響とサッカーのデュレーションの変化に基づく眼球重心位置の推定
○何 水蘭・坂田勝亮(女子美術大)
3. 輻輳眼球運動は視覚の手掛かりで誘発される 小高 泰(産総研)
4. 立体表示における画面の手前及び奥への快適視差範囲と視機能の個人差
○水科晴樹(徳島大)・安藤広志(NICT)
5. 前後運動する物体注視時の水晶体調節—2D/3D映像及び実物体注視の比較—
○杉浦明弘・芳川毅也・小高健仁・木下史也・山川達也・金子 央・采女智津江・森田一三・宮尾 克(名大)
6. 3次元画像での調節応答特性と画像のボケのかかわり
○矢野澄男・今井拓道(島根大)・Min-Chul Park(KIST)
7. [招待講演] 新しい心理療法における眼球運動の役割 福井義一(甲南大)

29日午前

1. 統合されない感覚と身体の対称性—発達障害への芸術的アプローチによる身体イメージのアナザーモデル構築—
村上泰介(愛知産大)
2. 顔画像追跡動作時の視線行動特性—定型発達者と自閉症者の比較—
○福井隆雄・和田 真(国立障害者リハビリテーションセンター)
3. 一過性虚血による眼振は健側向きなのか?
戸井輝夫(都立広尾病院/日大)・○野村泰之・岸野明洋(日大)・平井良治(都立広尾病院/日大)
4. [招待講演] SimpleGazeTracker: PsychoPy, VisionEgg, PsychToolbox 用オープンソース眼球運動計測ソフトウェア 十河宏行(愛媛大)

29日午後(13:30~)

5. 自動車ドライバの見落とし防止のための網膜視細胞配列空間標本化像可視化 ○小島隆介・平田 豊(中部大)
6. 視細胞及び神経節細胞の密度分布特性を考慮した網膜数理モデル ○久保賢典・小濱 剛・吉田 久(近畿大)
7. 顕著性とアンサンブル情報の視覚探索における効果の比較 熊切俊祐(京大)
8. 視運動性眼振に基づいた注意位置の推定
○金成 慧・金子寛彦(東工大)・阪本清美・森 俊也・辻 勝長(パナソニック)
9. 輻輳角変動を用いた三次元的注意位置推定
○山田勇人・金成 慧・金子寛彦(東工大)・阪本清美・森 俊也・辻 勝長(パナソニック)
10. 音声及び身体応答による認知負荷がマイクロサッカート発生頻度に及ぼす影響
○中井裕真・大谷尚平・加納悠史(近畿大)・山本雅也・上田慎一・栗原正幸(東海理化)・小濱 剛・吉田 久(近畿大)

◆日本光学会視覚研究グループ共催

◎28日研究会終了後に懇親会を予定しております。懇親会への参加を希望される場合には、9月24日(木)までに会場世話人の水科(mizushina.haruki@tokushima-u.ac.jp)までメールでお申し込み下さい。

☆HIP研究会今後の予定 []内発表申込締切日

12月1日(火), 2日(水) 東北大通研[9月1日(火)] テーマ: マルチモーダル, 感性情報処理, 視知覚とその応用, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申し込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

水科晴樹(徳島大)

E-mail: mizushina.haruki@tokushima-u.ac.jp